

熱と流れのシミュレーション・アジア国際シンポジウム 2011
Asian Symposium on Computational Heat Transfer and Fluid Flow - 2011

本国際会議は「熱と流れ」におけるコンピュータシミュレーションの進展を主題として、熱物質輸送の諸問題に取り組むアジア各国の研究者や技術者が一堂に会し、情報交換と今後の課題を議論する場を提供することを目的に、2011年9月22日～26日の日程で京都大学百周年時計台記念館にて開催されました。基調講演では東京大学サステナビリティ学連携研究機構の住明正教授に、地球の気候と天気を予測する大規模シミュレーションの研究を紹介いただきました。また、共催して頂いた京都大学 GCOE プログラム「地球温暖化時代のエネルギー科学拠点」から京都大学大学院エネルギー科学研究科の石原慶一教授ほか9件のキーノートレクチャーならびに一般講演として123件が3室パラレルで行われました。参加者総数は日本、中国、韓国、台湾、インド、イギリス、イラク、ロシアからの8カ国169名（海外から101名）に及び、開催期間中に研究者相互の議論、交流が活発に行われました。



参加者の集合写真@京都大学百周年時計台記念館前